

## A support at a window ※窓口対応

**政** 策経営課に異動して、1年が経ちました。様々なことがあり、あっという間に過ぎた1年であったように思います。

**一** の1年で1つ変化がありました。それは、回数**こ**はそれほど多くないのですが、市民課の窓口で、外国人市民の方への対応をするようになったことです。決して流暢とは言えない、つたない英語ですが、何度か、外国人市民の方へ申請等についての説明をする機会がありました。その経験は、1つのことを考えるきっかけを与えてくれました。

**先** 日、市民課から1本の電話が入りました。「窓口**に**外国人市民の方が印鑑登録のため来庁し、印鑑登録は無事に済んだが、印鑑登録証が必要なのか確認をしてほしい」という依頼でした。

**窓** 口に急ぎ向かい、相手の外国人市民の方に来庁の目的を尋ねたところ、彼は1枚の紙を出しました。その紙には日本語で、車を買うのに必要な書類が書かれており、印鑑登録証が必要であることがわかりました。

**最** 初から彼が持っていた紙を出し、その紙の言葉を示して、どの書類が必要な**か**確認をすれば簡単に用件が済んでいたことでしょう。

**一** のことは、メニューの必要性を私に気づかせてくれました。つまり、市民課で申請のできる書類について英語で書かれたメニューを用意しておくことが必要ではないか、ということです。今回のことに照らして考えれば、メニューが用意**して**あることで、簡単に確認をすることができます。

**ま** た、このメニューを用意することによって、英語が話せる職員を待つ時間をなくすこと

ができ、その職員が休んだときの対策にもなると思います。

**そ** して、最大のメリットは、相手に不安な気持ちを抱かせないことではないかと思いま

す。今回も、私が呼ばれて話を**する**まで、外国人市民の方には、職員の対応の慌しさが伝わり、不安を感じて**いた**のではないかと思います。

**以** 前、私も同じような経験をしたことがあります。それは、出張先のオーストラリアで、トラベラーズチェックを現金化しようとしたところ、窓口**に**いた職員が慌しく中に入ってしまった、書類の確認をして**いた**ことがわかるまでの間は、非常に不安に思ったことを覚えています。

**そ** のような不安な気持ちを抱かせないために、メニュー作り**に**取り組んでいきたいと思います。

**全** ての市民が住みやすい三浦市であるように努力するのが、私たち職員の使命であると思っています。このメニューの作成自体は、小さな取組みかもしれませんが、このように気づいたところから小さな取組みを始めていって、大きな取組みになるようにすることが、大切なのだと思います。

(政策経営課 小山 綾子)

「ぼっこすこせえる」とは・・・神奈川県三浦市には三崎弁と呼ばれる方言があります。「ぼっこす」は「ぶち壊す」の意味、「こせえる」は「こしらえる」という意味です。つまり、「ぼっこすこせえる」は「ぶち壊し、こしらえる」=スクラップ&ビルドという意味になります。

次号(第46号)は5月20日発行です。



# 平成22年度の政策経営部の職員をご紹介します



名前(役職・所属)	自己紹介・抱負
小林 隆一 KOBAYASHI, Ryuichi (理事)	着任一週間。九年ぶりであるが、以前にも増して厳しい状況(のよう)である。ただ、心配や不安は感じない。それは、自分が歳をとった分以上に若さと活気を感じるためか……。苦しくても厳しくてもやる気が大事であり、兎に角、前に進める事が肝要と思う。 経験(といってもたいしたものではない)が少しでも三浦のために活かせればと思う。
高橋 茂 TAKAHASHI, Shigeru (部長)	昨年11月に市長より『脱・イエローカード』という形で、三浦市財政の危機的状況を市民の皆様にご説明させていただきました。長い職員生活になりますがこのような状況は過去にも記憶がなく、昭和30年の市制施行以来、最大の財政危機にあるという認識を持っています。さまざまな行政課題も解決していかなければならない本市ですが、財政(財源)とのバランスを第一に業務を進めていく考えています。この4月1日に保健福祉部から異動しましたが、三浦市のために少しでも多くの良い仕事をしなければ、と気持ちを新たにしているところです。よろしくお願ひします。
中嶋 謙一 NAKAJIMA, Kenichi (財政課長)	市財政は依然として厳しい状況が続いています。特に平成22年度は土地開発公社の解散という重要課題がありますが、長期的な視点で将来の財政健全化を目指して、着実に取り組んでいきます。

名前(役職・所属)	自己紹介・抱負
木村 靖彦 KIMURA, Yasuhiko (政策経営課長)	厳しい財政状況にあることを十分に認識しながらも、市民の皆様にとって役立つ市役所となることを目指し、明るい気持ちを忘れずに、職員同士協力し、業務にあたっていきたいと思ひます。
徳江 卓 TOKUE, Takashi (秘書課長兼行革担当課長)	政策経営部に配属され通算4年目となりました。政策経営課着任時からの目標である「最少の経費で最大の効果」を旨とし、常に全体を鳥瞰することを忘れずに、さらなる行政革命の推進に注力いたします。
石渡 隆行 ISHIWATA, Takayuki (財政課主査)	また新たな年度が始まりました。今年度は、三浦市にとって大きな変革の年となります。激動の波に飲み込まれず、健全な財政運営への舵取りは、つらく険しいものと思われますが、部課を超えた連携体制を維持しつつ、課員全員で荒波に立ち向かっていきたいと思ひます。
鷺阪 慎太郎 SAGISAKA, Shintarou (財政課主査)	市では昨年11月に「緊急緊縮財政宣言」を出しました。これを宣言だけで終わらせないためには、職員1人1人一層の努力が必要です。財政課職員にもより多くのものが求められることとなりますが、常に自分を見失わずに職務に取り組みたいと思ひます。
片野 勝 KATANO, Masaru (秘書課)	公用車の安全運転を最優先するとともに交通ルールを厳守し、市長が多くの公務を迅速に遂行できるよう、的確な運転に心がけます。
佐原 雅子 SAHARA, Masako (秘書課)	昨年度は、任用替1年目で右も左もわからず、無我夢中で過ごしてしまいました。2年目の今年度も、同じ課に所属となり、多少なりとも手際よく仕事をこなしていきたいと思ひます。引き続き、ご指導よろしくお願ひします。
江川 範子 EGAWA, Noriko (政策経営課)	政策経営課の職員として、この7月で3年目を迎えます。これまでの自己を振り返ってみると、反省ばかりであることに改めて気付きました。これを機に、気を引き締め、日々精進を重ねて、仕事をしていきたいと思ひます。
梯 大介 KAKEHASHI, Daisuke (秘書課)	秘書とは日本語では「機密の文書・事務などを取り扱う職」という意味がありますが、英語で秘書を示すSecretaryは「長官」という意味もあります。秘書として単なる市長付きになるのではなく、市長を最も身近で補佐する責任ある立場として、市長の言葉を積極的に発信するなど主体をもって取り組んでいきます。
羽白 泰介 HASHIRO, Taisuke (政策経営課)	政策経営部職員として5年目となりました。様々な業務に、より一層の向上心をもって取り組み、皆さんに「ずっと暮らしたい」「ぜひ住んでみたい」と思われる魅力あるまちづくりに貢献出来るように頑張ります。
深瀬 弘志 FUKASE, Hiroshi (政策経営課)	政策経営課の職員として3年目。気が付けば部内では古株の部類に入っていました。新しい仲間刺激を受けつつ、これまでの経験を少しでも活かせるよう、コミュニケーションを密に取りながら業務に励みたいと思ひます。

名前(役職・所属)	自己紹介・抱負
下平 哲之 SHIMOHIRA, Noriyuki (財政課)	財政課職員として2年目を迎えました。財政状況は昨年以上に厳しいですが、先輩方から教えて頂いた事を糧に、日々精進し、財政運営を全うしていきたいと思ひます。
山下 明恵 YAMASHITA, Akie (秘書課)	平成22年4月1日付けで秘書課に配属となりました。未熟者ですが、一から学ぶ覚悟で日々精進し、少しでも市長と市民の皆様との橋渡し役となれるよう、誠心誠意努めたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。
鈴木 洋平 SUZUKI, Yohei (政策経営課)	今年度は「原点」に立ち返り、三浦市役所の行政革命に向けて、新しい視点で物事を捉えられるよう勉強し頑張っていきたいと思ひます。また常に「わかりやすさ」を追求していきたいと思ひます。
小林 布美子 KOBAYASHI, Fumiko (財政課)	財政課に配属され2年目となりました。昨年は三浦市の厳しい財政状況を改めて痛感した1年でした。今年度も厳しい状況が続きますが、そのような中でも三浦市が前向きに進んでいけるよう職務に励んでいきたいと思ひます。
小山 綾子 KOYAMA, Ryoko (政策経営課)	政策経営課2年目に突入し、ぼっこすこせえる4月号の執筆で、自分の未熟さを思い知る今日この頃です。昨年度は業務をこなすだけで精一杯の1年でした。今年度は、1歩1歩、少しずつでも進歩できる1年にできるように心がけていきたいと思ひます。



三浦市長の吉田ひでおです。新年度が始まる4月は、黄色い帽子をかぶった新入生が、新たな環境にドキドキしながらも、希望に胸をふくらませる季節です。そんな新入生に負けないよう、三浦市ホームページに設けている「市長の部屋」もリニューアルし、気持ちを新たにリスタートしました。

これまでも、私自身の市政への取組や様々なメッセージなどを市民の皆様が発信してきましたが、さらに多くの情報を発信していくために、画面のレイアウトを工夫して見やすくするとともに、新たな「小部屋(コンテンツ)」を追加して「市長の部屋」を充実させました。県内の市長の中では、最も多くの「小部屋(コンテンツ)」を持つホームページになっています。

私は市長に就任して以来、このコラムのテーマでもある「3つのS(シンプル・スピード・サービス)」を市政に取り組む基本方針としてきましたが、情報の公開・共有は、そのうちの「サービス」の大切な視点のひとつです。

実際の「市長室」の面積は県内で一番小さいかもしれませんが、三浦市ホームページに設けている「市長の部屋」は県内で一番大きいものになったと自負しています。以前に掲載したコラムも「市長の部屋」でご覧いただけるようになりましたので、ぜひお気軽においでいただけると幸いです。